

守 監 発 第 6 号  
令和6年8月16日

守谷市長 松丸修久様

守谷市監査委員 高瀬尚則

守谷市監査委員 高梨恭子

令和5年度守谷市各会計決算及び  
各基金運用状況審査意見書の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項の規定により審査に付された、令和5年度における守谷市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算並びに同法第241条第5項の規定により審査に付された各基金の運用状況について審査したので、次のとおり審査意見書を提出する。

# 令和5年度守谷市各会計決算及び各基金運用状況審査意見書

## 1 審査の対象

守谷市一般会計歳入歳出決算  
守谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算  
守谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算  
守谷市介護保険特別会計歳入歳出決算  
各基金の運用状況を示す書類

## 2 審査の期間

令和6年7月16日から令和6年8月16日まで

## 3 審査の方法

守谷市各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成され、これらの計数の正確性とその会計処理が適正に行われているかを関係書類と照合するとともに、関係職員から説明を聴取し、定期監査、例月現金出納検査等の結果を参考として、収入支出事務の適法性、的確性の確認を行い、予算が適正かつ効率的に執行されたかを審査した。

また、各基金の運用状況を示す書類について、その計数の正確性を検証するため、関係帳簿等との照合その他通常実施すべき審査を実施したほか、基金の運用状況の妥当性を検証するため、関係書類を審査した。

## 4 審査の結果

審査に付された守谷市一般会計歳入歳出決算書、守谷市各特別会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して調製されており、その計数は、関係諸帳簿その他証書類と照合した結果、予算の執行に関連する事務の処理は適正かつ効率的に執行されていると認められた。

また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても関係諸帳簿、証拠書類と符合しており、基金の運用状況は妥当であると認められた。

## 5 審査の意見（各会計の状況）

### 【一般会計】

歳入決算額は402億3,233万5,637円で、前年度と比較して44億3,670万4,918円(12.4%)の増額となった(令和4年度と令和3年度の比較:12億2,755万4,268円の増額、3.6%の増)。

歳出決算額は371億999万6,450円で、前年度と比較して53億5,988万

1,941円(16.9%)の増額となった(令和4年度と令和3年度の比較:1億7,480万3,732円の増額、0.6%の増)。

歳入の状況としては、前年度と比較すると、主なものとして、市税、寄附金、繰入金、繰越金が増額となった一方、国庫支出金、財産収入、地方交付税が減額となった。

なお、歳入における財源の構成比は、自主財源が72.4%(前年度:64.9%)、依存財源が27.6%(前年度:35.1%)という状況である。

歳出の状況としては、前年度と比較すると、主なものとして、総務費、民生費、消防費、公債費が増額となった一方で、大きく減額となったものとして、商工費、土木費、教育費、諸支出金が挙げられる。

また、歳出における目的別の構成比が増加となった主なものは、総務費が前年度19.1%に対して30.2%となっている。増加の主な理由として、松ヶ丘六丁目の土地・建物の購入が挙げられるが、歳入の増加もあり、令和5年度単年で考えると、財政的な影響は少なかったと考えられる。

#### 【国民健康保険特別会計】

歳入決算額は51億5,878万1,898円で、前年度と比較して363万4,321円(0.1%)の増額となった(令和4年度と令和3年度の比較:3億1,645万6,496円の減額、5.8%の減)。

歳入の主なものとして、前年度から、国民健康保険税が6,803万6,423円(5.6%)の減、県補助金が1億776万4,477円(3.1%)の減となったが、基金繰入金が2億4,841万6,000円の増となっており、被保険者数の減少に伴い財源も減少する中、基金を取り崩して事業を運営している状況が伺える。今後は注視していきたい。

歳出決算額は51億1,854万1,836円で、前年度と比較して552万2,838円(0.1%)の減額となった(令和4年度と令和3年度の比較:2億6,829万8,091円の減額、5.0%の減)。

歳出では、保険給付費が減少する一方で、国民健康保険事業費納付金が増加しており、決算額としては、前年度と同規模になっている。また、支払準備基金の残高は10億2,319万9,439円で、前年度から2億4,835万3,858円の減となっている。

#### 【後期高齢者医療特別会計】

歳入決算額は9億50万378円で、前年度と比較して6,784万7,975円(8.1%)の増額となった(令和4年度と令和3年度の比較:8,771万7,654円の増額、11.8%の増)。

歳出決算額は8億9,662万3,267円で、前年度と比較して6,833万1,531円(8.2%)の増額となった(令和4年度と令和3年度の比較:8,643万2,017円

の増額、11.7%の増)。

令和6年3月末における被保険者数は8,505人(令和5年3月末:7,925人)で、人口に占める割合は12.0%(令和5年3月末:11.3%)となっている。今後も、被保険者数の増加により、規模が拡大していくことが予想される。

### 【介護保険特別会計】

歳入決算額は41億2,924万2,121円で、前年度と比較して1億5,479万6,367円(3.9%)の増額となった(令和4年度と令和3年度の比較:6,123万6,724円の増額、1.6%の増)。

歳出決算額は39億5,500万9,178円で、前年度と比較して2億3,870万6,702円(6.4%)の増額となった(令和4年度と令和3年度の比較:3,784万1,055円の減額、1.0%の減)。

歳出における保険給付費は33億1,936万9,521円で、歳出総額の83.9%を占めている(令和4年度:32億777万4,992円(歳出総額の86.3%)、令和3年度:32億367万4,925円(歳出総額の85.3%))。

守谷市の高齢化率(65歳以上人口)及び要介護認定率は、各年4月1日現在、年々微増しているものの、茨城県や全国と比較すると、いずれも低い水準となっている。

### 【財政分析指標】

財政分析指標については、単年度の財政力指数が0.963(前年度:0.958)、経常収支比率が93.4%(前年度:90.3%)、公債費負担比率が5.9%(前年度:5.3%)となっている。

### 【基金運用状況】

各種基金については、適正に管理・運用されている。